



IMAGINE
ROTARY

＜本年度クラブ会長方針＞ WEEKLY REPORT No.1613
ロータリーライフを楽しみ、
クラブの持続的成長を図ろう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 加藤巳千彦 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
幹事 吉田 憲一 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1888回例会

母子の健康月間

令和5年4月13日(木)

地区研修・協議会報告

於名古屋東急ホテル

会員57名

出席計算数

53名中43名出席

出席率 81.13%

前々回出席率 86.8・79%

例会プログラム

★岡村青少年奉仕委員長

・黒板アート 育てよう小さなアート

マインド/活動報告

★地区研修・協議会報告

ロータリーソング

「ROTARY」(歌唱なし)

ゲスト

会費組織委員会ゲスト

(西脇良輔さんご友人)

株式会社ALFRED

代表取締役 森 泰広さん

ニコボックス

ようこそ大須ロータリーへ。

森さんよろしくお願ひします。

吉田 憲一

藤田 澈・丹下 富博

仲林 宏昌・原 幸一

ゲストの森さん楽しんで下さい。

西脇 良輔

地区研修・協議会に苦勞様でした。

岡部 快圓・深谷 昭広

内藤 啓喜・河合 誠弥

本日地区研修・協議会(報告)させていただきます。堀江 英弥
地区研修・協議会報告よろしくお願ひします。横井 衛

昨日は東京の練馬区立美術館へ行って来ました。吉田 隆彦

尾上さん、荻葉さん横井さんお忙しい中ありがとうございます。

今年のゴルフは雨ばかり。岩崎 征一

川島さんお世話になります。岡田 尚彦

誕生日です。高木 政義

妻の誕生日です。飯田 昭夫

結婚記念月です。岡部 快雅

副会長挨拶
「桃園西門RCCを訪ねて」
副会長 尾上 昇



先般の3月31日〜4月2日、我がクラブと友好クラブ提携を締結している台湾桃園西門RCCの創立14周年の式典及び祝賀会に出席してきました。参加したのは加藤会長以下7名です。

予定は、着いた日が我々の為の歓迎宴、翌日は、ゴルフ、夕刻より本番という二泊三日の慌ただしい旅程でした。

中国式宴会は、乾杯(カンペイ)が始まります。何故か赤ワインからです。中国式でカンペイは、一気飲みの場合です。カンペイと言われたら、こちらもカンペイと返さなければならず一気にグラスを空け、お互い目を合わせながら空のグラスを見せ合つのです。

あちこちからカンペイの音が掛かります。その内に、盛り上がりつつあります。いつしかワイスキーのショットグラスに替わります。

その都度これに合わせている、終わる頃には、完全に撃沈です。ですから要領があるのです。カンペイと来たらカンペイと返さず、随意(スワイ)と言つのです。これは、一気飲みご勘弁の意思表示です。但し、これには、にこりと笑みを添えるのが礼儀です。

私は、仕事で台湾も中国本土も度々訪れていますので、スワイを知っていますが、これを知らないと討死です。それにしても以前の中国は紹興酒に白酒(ハイチュウ)でした。それが今では、ワインにワイスキーです。時の変遷を感じます。ちなみに聞くところによれば、今や紹興酒は、中国では料理酒扱いだそうです。

翌日は、台湾のロータリアンも

混じつてのゴルフです。昨夜のアルコールが抜け切れない中でのゴルフです。大上副幹事などは、OB6発スリーパットの連続で、120近く叩く始末でした。私も釣られて93もの大叩きをしてしまいました。上がったらず度風飯時で、またこころでもカンペイです。

夕刻からは、14周年記念の式典と祝賀会です。参加者は、ガバナール始め地区内のRCCのメンバー、しかもほとんどの方がご夫人同伴です。式典は、日本同様、お祝いのスピーチや表彰でした。加藤会長も日本からの来賓ということで、壇上で挨拶に立っています。

私の役目は、我がクラブの40周年行事のPRで、同じく壇上で今年の12月11日の訪日依頼をこ案内させてもらいました。

祝賀は、日本では乾杯のご発声が始まると決まっていますが、台湾式は、時間が来ると各テーブルでそれぞれが自然スタートです。

例によって、カンペイです。特に我々日本人は、遠路はるばるの來台ということで、大持て、あちこちからカンペイの声の掛かりっぱなしです。断つては失礼になるの



でこちらからもカンパいで応じます。その内に……。

宴だけなわになつてきますと、歌と踊りが始まります。特にご夫人方のパワーが凄まじく、大人しい我々日本人も壇上に引つ張り上げられ、一緒に大騒ぎです。日本の言葉に「飲めや歌えのごんちゃん騒ぎ」というのがありますが、まさにこれです。お陰様で二夜連続の撃沈でした。

今回の訪台で私は、二つの疑問を抱きました。一つは、14周年という切りでもない数字にしては大仰な式典と祝賀会です。台湾や中国に14という数字に特別な意味があるのだろうかです。

聞いてみました。答えは、何の意味もない単なる14周年です。12周年も13周年も同様によったです。だったら切りのいい10周年とか20周年では、一体どうだったのか、どうなのか、他人様のことではあるが大いに気に掛かることです。

二つ目の疑問は、マスコミなどが盛んに報道している中国の台湾への武力侵攻についてです。台湾国内でのそれに対する緊張感がまるで無いことです。街にも人々の間にもさうしたことに關する緊張感が全く感じられませんでした。でも、ひびひびと人々の間には表に出たくないういいたくなく、その感情が隠れているの

ではないかと疑いたくなります。だとしたら、あの14周年の盛り上がり方は、一体何なんだろうとの思いに駆られます。そんな複雑な感情を抱きながら機上の人となりました。

地区研修・協議会報告

次年度クラブ奉仕副委員長

岡村 隆徳



4月9日名古屋マリriottアンシアホテルで開催された地区研修・協議会のクラブ奉仕の分科会に川合美幸委員長が参加されましたので代理でご報告いたします。講師に鈴木一作Rー研修リーダーを迎えて貴重なお話をいただきました。主旨としては以下です。

・例会の大切さを会員に伝え充実した例会運営を目指す。

・多くの会員が関われ役割の持てるプログラム等を吟味し、我々はもろろん広く地域に知らしめるよう工夫をして行く。

・人間性、事業、業界全体、社員全体の向上例会はこれらの向上のための「親睦と学びの場」

・魅力的で価値のあるクラブ運営（ロータリークラブの責務は、1.クラブリーダーの矜持、2.魅力的で価値のある例会、奉仕プロジェクト

- 3.クラブの一体感
- 4.クラブ理事云々

クラブ運営の要は会長の覚悟とリーダーシップ、幹事のひたむきな努力と気配り。会長の挨拶が大切であり、会長に始まり会長で終わる。

例会に出席したた食事をし、ウトウトしながら卓話を聞くのではなく充実できる1時間に行きたいです。来年度クラブ奉仕委員会をよろしくお願いたします。

地区研修・協議会報告(第4分科会)

次年度社会奉仕副委員長

齋藤 光悦

『フレンドを持ってロータリアンのフレンドで奉仕活動』というテーマのもと、各リーダーの挨拶



に始まり、1.社会奉仕について、2.環境保全について、3.ROCCについて、4.国際奉仕について、という内容で行われました。

まず始めに次期地区ロータリー奉仕委員長より地区奉仕委員会の考え方、概略の説明がありました。要約すると《各クラブが奉仕活動を円滑に行うための情報発信を行うべく》ということでした。各クラブの奉仕活動の情報を集め、フィードバックすることにより奉仕活動のヒントを見つけてほしいと言ったことでした。年一回各クラブの委員長が集まり情報の交換を行うそうです。他クラブの良いところは見習いかつ、大須ロータリークラブのオリジナルティーを存分に発揮できればと考えています。

次に、環境保全の活動について、4月8日に佐久島にて、佐久島クリーン大作戦を決定したそうです。ロータリアン、インターアクト、ロータリーアクトなど9名で海岸のゴミ拾いを行ったそうです。風良会

場までウォーキングをしながら交流をしたり、麓橋カバナーのご子息である南山大学の准教授の講演など楽しみながらの奉仕活動はいかにもロータリーらしいと感じました。

最後になりますが、ROCC(ロータリー地域社会共同隊)についての説明もありました。ROCCとはロータリークラブの奉仕プロジェクト一般の人々が行う奉仕活動と結びつけるお手伝いをするものということでした。正直、この研修に参加して初めて意味を理解したのですが、2760地区に84クラブあるなかで、わずか17のクラブしかROCCを掲唱しておりません。わが名古屋大須ロータリークラブは名古屋大須案内人ROCCとして活動しており、非常に誇らしい気持ちになりました。

今回初めて地区研修というものに参加させていただき、あらためて「知る」ということ、一歩踏み出すこと、継続することの大切さを感じました。他クラブの活動をヒントに大須ロータリークラブが

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

より良い奉仕活動ができればと考えております。
次年度は木村光徳委員長のもと、委員一丸となって活動していきたいと思いますので皆様ご協力よろしくお願ひ致します。

地区研修・協議会報告

次年度職業奉仕委員長

林 順治



「ごんには。次年度、職業奉仕委員長を務めさせていただきます林順治です。地区研修・協議会のご報告させていただきます。宜しくお願いいたします。」

第五分科会、職業奉仕委員会のテーマは「育もつ職業奉仕プラン」の4つのテストで「継続的改善」です。分科会では「育もつ」も、職業奉仕

とは何ぞや？から始まりました。次年度地区職業奉仕委員長、副委員長もよく分からないと仰っております。そこで、職業奉仕の説明を鬼頭秀幸委員長、加藤徹副委員長、それぞれの会社の会社案内（企業理念）を「四つのテスト」と照らし合わせて例に挙げ、お話し頂きます。

真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか、

「四つのテスト」とは、すべての人びとの倫理的指針となる、ロータリーの基本理念にあります。「倫理的指針」とは、決まり事守るべき秩序を、この様にすべきだ、こうした方がよい、の様な基準を示す内容で物事を進める上で頼りとなるものです。

ロータリーの基本理念「奉仕部門では、職業奉仕とは、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てること」とあります。「高潔」とは、人柄が立派で、利欲の為に心を動かさないことです。職業とは生活を支える手段としての仕事であり、職であります。そして奉仕とは、サービス。人の為に力を尽くす仕事は職業奉仕ではないでしょうか。

以上、職業奉仕の意味を再度しっかり考え、次年度取り組んで参ります。

地区研修・協議会報告

次年度国際奉仕委員長

堀江 英弥



第4分科会は「フライドを持ってロータリアンのブランドで奉仕活動をし、未来に繋がる奉仕活動」と題して開催されました。

酒井法丈カバナーは挨拶の中で物語を語り、単に奉仕活動をして終了ではなく、その後どうなったかが大切であり、池に投げた石で波紋が広がるように、輪を拡げて欲しいと挨拶されました。

渡邊寿也地区国際奉仕委員長からは「国際奉仕活動するのは各クラブで行ってほしい、分からないことや困ったことがあったら地区にはリソースの情報が蓄積されているので何なりと問い合わせてく

ださい。」とお話がありました。続いて、二人の副委員長から、実施した国際奉仕活動の報告がありました。

①伊藤幸蔵副委員長からは、「地区委員会で行ったフオースのピエンチャンで水と衛生の問題で、井戸に関して報告があり、浅い井戸は場所により土素を含んだ水が出たり、浸透した汚水が混じったりして危険だということを確認して活動をする必要があるです。」ということが紹介されました。

②鈴木拓将副委員長からは宮の杜RCが行った、カンボジアでの奉仕活動の紹介がされました。最後に、担当カバナー補佐が7つの重点項目に沿って奉仕活動を積極的に行ってほしい。と結び、分科会が終了しました。

地区研修・協議会報告

次年度青少年奉仕委員長

杉本 忠夫



地区研修・協議会報告

次年度委員会組織委員長

山口 正孝

「酒井カバナー年度会員増強目標」「コロナ前の会員数に戻す！」具体的には265名＋α、5%会員を増やす。新会員獲得と同様に退会防止を重視する。」

1. 新会員獲得

「従来の方法を更に強化」

従来の方法は、会員から候補者情報を集め、対応をクラブで協議し、ロータリー情報・クラブ情報を伝え、ゲストとして例会に招待し入会を勧めてきました。強化対策として、会員勧誘に使えるクラブリーフレットフォームがクラブ事務局に配信されました。フォームはA4サイズ三つ折りです。ロータリーの説明と地区情報掲載、写真と文字で空欄を埋めて、クラブリーフレットは完成です。ワード、エクセル、パワーポイント対応、必要に応じてクラブ情報を差し替えれば、常時最新のリーフレットが用意できます。

「従来と違うターゲット従来と違う方法の採用」

「これまで手薄だった、若年層で女性をターゲットに入れる。」

若年層については、ロータリークラブの扱いが変わり、ロータリークラブの会員数がロータリー会員数に算入できます。また、クラブの



多様化により若年層のニーズに
えられるクラブも増えています。
たごは、例会が月2回のクラブ、
ウェブ上で例会をするクラブ、
費の安いクラブ等があります。

女性会員について、世界では
25%、日本では7.3%、第27
60地区5.8%が女性会員とい
う現状です。会員の資格条件(定款
8条1節)に照らしてみれば、職
場や責任ある地位にある女性、主
婦として家族を支える女性、社会
で有意義な活動をする女性、みな
会員候補者です。

その他、前年度に続き「ロータ
リー女性の集い」Part1、Part2
も開催予定です。

2. 退会防止(個人の諸事情が絡むので
個別の対応が重要)
退会防止対策とは、クラブを魅
力的にするよう、すべての会員に
居場所を作ることに努めます。

は、結果的に会員増加に繋がる。
会員増強セミナー開催
2023年8月1日
於 名鉄グランドホテル

「黒板アート」直ぐよう小さな
アートマインド」
青少年奉仕委員長 岡村 隆彦
2021年3月より青少年奉仕
委員会が実施し、好評を得ている
「黒板アート」を、今年度は我が
クラブの地元、名古屋市立前津中
学校で企画しました。

中区大須に位置し少子化の影響
で新一年生は1クラスでしたが、
予備室なども含め3作品を黒板へ、
また今年初の取り組みとして、ホ
ワイトボードにもインクを使って
描いてもらいました。



制作は例年通
り愛知県立芸術
大学(倉久手市)か
ら在学生3名に
取組んでもらい、
朝から丸一日か
けて仕上げてく
れました。非常
に立派な作品が
出来上がり4月
7日(金)の入学
式で全校生徒に
公開されました。
小澤さんにご
尽力いただき中
日新聞、また読
売新聞の取材も
受け、それぞれ
8日の朝刊へ掲
載して頂きました。
12日にはテ
レシ愛知の情報
番組「10こと
くー」で制作風景や美大生のイン
タビューなどを中心に放送して頂
きました。

学生にとって身近な存在のチヨ
ークや黒板ホワイトボードが素晴
らしいアートに変身することを体
験し、芸術への関心を高めるとこ
もに、続くコロナ禍への心のケア
にもなったと思います。また制作
に携わった美大生にとっても、芸
術を通じて地域社会に貢献する貴
重な体験になったことと思えます。



その他・お知らせ

大須観音しだれ桜観覧会

世話役 堀江 英弥
名古屋大須ロータリークラブの
創立30周年を記念して、日本人の
心のどこかに感じる桜、しだれ桜
を大須観音境内に植樹して、今年
で9年がたち、大きく成長しまし
た。

今年も3月29日に有志メンバ
ー20数名が参集して、少し控えめ
に咲いている境内のしだれ桜を愛
でた後、大須観音の会場をお借り
して、ワインやお酒を持ち込み
いただいたり、メンバーで酒や肴の
買い出しをしたりして、ベテラン
メンバーから若手メンバーまで盃
を交わしロータリー談義で大いに
盛り上がり、夜遅くまで手作りの
観覧会を楽しみました。
「ご参加いただいた
皆さん、誠にありが
とございました。」



- 4月27日(木) 例会の案内
定款規定により休会(祭日週)
- 5月4日(木) 例会の案内
法定休日(みどりの日)
- 5月11日(木) 例会の案内
ロータリー版「私の履歴書」例会
藤田 激さん
飯田 昭夫さん

公共イメーシ向上委員会

麻雀同好会第49回例会
令和5年3月23日(木)
於 一富士

優勝 河合 誠弥 さん
準優勝 近藤宏一郎 さん
3位 小笠原和俊 さん

新会員の方も参加して、賑やかに開催
されました。ただいま会員募集中です!
是非一度ご参加ください。

木村 光徳・近藤宏一郎
萩栗 賢一・藤田 激
*本文は、原則、頂いた
原稿を転載しています。